

しかし、合併特例債の借入期限となる平成26年度末までに取り組んでおくべき大型プロジェクトも多く、また地方交付税の合併特例措置終了後の財政運営を維持するため、今後はますます事業の取捨選択が必要となってくると思われ、その一環として本年度も中期財政見直しを立てます。

ごみ30%減量作戦

3年間で30%の減量を目標として掲げている、ごみ減量作戦の取り組みですが、2年目に入った今年度7月末日現在の減量率は1・7%となっており、非常に厳しい状況と言わざるを得ません。

減量率が停滞している大きな要因として「ざつ紙」の分別回収・資源化が市民の間でまだ十分に認知されていないことが挙げられます。

各自自治会にある「ごみステーション」を活用した古紙回収を検討しています。現在の予定では、開始時期を今年11月と設定し、毎月1回の回



箱、封筒、トイレトペーパーの芯などのざつ紙

収を計画しています。詳細な内容が決まった段階で、市民説明会などを開催し、周知と協力依頼をしたいと考えています。

地域支え合い体制づくり事業

7月末日現在、市においては高齢化率が28・2%であり、単身高齢者および高齢者のみの世帯も、全世帯数の30%と年々増加しています。

地域とのつながりや支援が必要な高齢者などを互助、共助の仕組みにより地域で支えていくことが重要であると考えられます。

今年度からの災害時要援護

現病院付近には、社会福祉協議会の事務所があり、地域生活支援センターも整備されていることから、将来的に医療福祉ゾーンとして一体的な整備ができるものと考えています。

今後、候補地の農業振興地域からの解除申請に向け、地権者との協議を行います。

上半期の火災・救急概況

火災の状況については、1月から7月末日までの火災件数は6件で、前年同期より3件減少しています。火災種別は、建物火災1件、林野火災4件、その他の火災1件です。救急の状況については、火災と同期における出動件数は886件であり、前年同期より42件減少しています。

熱中症の搬送状況については、5月30日から7月31日まで、19人を搬送しています。前年同期の搬送は9人であったため、2倍と大幅に増加しています。年齢区分では、少年が2人、成人が6人、高齢

者登録制度の実施に加え、災害時に限らず、社会的弱者に対する平常時の見守り支援にも繋げるための地域支え合いネットワークの構築を目的として、「地域支え合い体制づくり事業」に取り組みます。

地域再生計画の策定

県道瀬西大寺線および県道箕輪尾張線の沿線に、商業施設の建設が次々と進んでおり、一層の交通渋滞が予測されます。

バイパス道路として、市道南北線を南に延長し、岡山ブルーラインの瀬戸内インターへ接続する道路の整備を地域再生計画を策定して進めていきたいと考えています。

また、林道亀ヶ原線についても併せて地域再生計画で整備を進めていきたいと考えています。

企業誘致に伴う企業団地の造成

市道南北線を有効活用し、

ン」を作成して授業改善を図るとともに、一人一人の児童生徒にに応じた指導の工夫を図っていきます。

また、本年度初めて「夏休み子ども寺子屋教室」を8月25日と26日の2日間、中央公民館を会場に実施しました。

子どもの学習意欲の向上と地域のボランティア先生の発掘を目的にしたものであり、将来的にはボランティア先生による定期的な「寺子屋教室」の開催を目指します。

備前長船刀剣博物館特別展

備前長船刀剣博物館では、刀剣文化に対する若い世代の理解を促進するため、アニメやゲームで人気の『戦国BASARA』に注目し、7月23日から9月4日まで、特別展『戦国BASARA』HERO武器・武具列伝を開催しています。

※8月28日には1日の入場者数としては過去最多となる1,415人が入場し、特別展期間中の総入場者数は、21,112人でした。

市の発展につながるためにも、沿線への企業誘致を推進する必要があります。

以前から長船町宮下地区においては、市道南北線沿線への企業誘致について強い要望があるため、宮下地内の約3分の1の土地を造成し、企業立地を計画的に進めたいと考えています。

さらに、豆田工業団地などへの企業誘致を積極的に進めるためには、企業団地の造成を円滑に行う必要があり、瀬戸内市企業団地造成事業の特別会計を新たに設けて、造成事業を実施していきたいと考えています。

新病院の建設

新病院建設の予定地については、県と協議を重ねながら、新しい場所も含め、数カ所の候補地で様々な検討を進めてきました。

優良農地の保全管理などを総合的に判断し、現在の市民病院の西側に建設する方向で調整を進めています。

チャレンジデー2011

5月25日(水)に「チャレンジデー2011」が開催されました。市として今回初めて参加しました。最終の参加人数は16,967人で、参加率は目標としていた40%を上回り43・2%となりました。

チャレンジデーをきっかけとして、運動習慣が身につく、スポーツを通じて健やかに暮らせるまちを目指して、社会体育施設や地域公民館・公会堂・コミュニティセンターなどでの、市民の健康づくりにつながる行事や教室などを推進していきます。



新しいスポーツも体験できたチャレンジデー

合併特例債

合併後10年間に限って借り入れることができる市債。対象事業費の95%までの借り入れが可能で、将来の元利償還金の70%は、普通交付税の算定の積算基礎に算入される。

ごみ30%減量作戦

岡山市に一部を委託している可燃ごみの焼却処理について、市内で処理することを目標として進めているごみ減量の取り組み。

地域支え合い体制づくり事業

災害時たすけあい台帳や地図の作成、災害時要援護者の登録の働きかけ、地域で孤立している人の支え合いの仕組み作り、社会福祉協議会が行う地域の支え合いの仕組み作りの側面支援などを行う事業。

災害時要援護者

災害が発生したときや災害のおそれがあるときに自力で避難することが難しい高齢者や障害のある人で支援が必要なる人。

地域再生計画

地域が行う地域再生のための自主的・自立的な政策をまとめた計画。計画が国に認定されれば、交付金などの支援措置が得られる。

市道南北線

3月30日に開通した長船町土師地内の県道飯井宿線から邑久町尾張地内の県道瀬西大寺線を結ぶ約4・4キロの2車線道路。

地域生活支援センター

障害者などの相談に応じ必要な助言などを行い、また、創作的・生産活動の機会を提供し、社会との交流を促進することで障害者などの地域生活支援の促進を図る施設。名称はスマイル。

農業振興地域

自然的・経済的社会的条件を考慮して、一体として農業の振興を図ることが相当であると認められる地域。

チャレンジデー

15分以上運動やスポーツをした住民の参加率を競う。